



葛巻福祉大学 大人の講座 葉っぱアート

植物の葉をスプレーなどの塗料でかたどって作る「葉っぱアート」の教室を開催します。

▷対象者・定員

町内在住の60歳以上の人（定員各回20人）

▷日時・場所

- ① 9月29日(金) 江刈農村センター
- ② 10月3日(火) 小屋瀬農村センター
- ③ 10月5日(木) 田野構造改善センター
- ④ 10月6日(金) 象鼻会館

時間 ①②③ 13:30～15:30

④ 9:30～11:30

※各回同じ内容です。ご希望の会場にご参加ください。

▷講師

近藤明美さん（新町）

▷参加費

1,000円（材料代）

▷持ち物

めがね、木の葉、枯れ葉、ものさし（30cm以上）

▷申し込み

9月22日(金)までに公民館に電話でお申し込みください。定員になり次第受付を終了します。

公民館 ☎65-8990



作品イメージ

手づくり絵本教室 オリジナル絵本の完成を目指す

8月3日、くずま～るで手づくり絵本教室が開催されました。

講師は小室好司さん（江刈小学校長）で、今年の教室には20人が参加。3回目となるこの日はそれぞれストーリーと絵の下書きまで作業が進んでおり、妖精や魔法を題材にした夢いっぱいの物語や、友だちや自分自身が登場人物になっている物語など個性豊かな作品が完成間近となっていました。

小室さんは「急ぐと字も絵も小さくなってしまいますので、とにかく大きく描くことが大事」とアドバイスし、子どもたちは自らの作品の完成に向けて集中して取り組んでいました。

なお、完成した作品は令和5年度岩手県手づくり絵本コンクールに出品される予定です。



講師の小室さん（円内）と絵本の制作に励む子どもたち



講師の小室さん（円内）と絵本の制作に励む子どもたち



△県大会2位の賞状を手にする若さん
▷東北大会の試合の様子（左が若さん）



南館若さんは、7月15日と16日、県営武道館で開催された第70回岩手県中学校総合体育大会柔道競技（女子40kg級）で準優勝し、8月7日から9日まで、秋田県立武道館で開催された東北中学校総合体育大会に出場しました。

東北大会初戦は青森県の選手と対戦。延長戦にもつれ込む接戦でしたが、技ありを取られ惜しくも敗退しました。若さんは「組んだ時は相手との力の差は感じなかった」と悔しさをにじませながらも「積極的に技をかけた、弱気にならないよう自分を鍛えていきたい。新人戦では個人はもちろん団体戦でも上位入賞できるように頑張りたい」と早くも次の目標を掲げていました。

南館若さん（小屋瀬中2年） 柔道で東北大会に出場

ミニバス交流大会 記念の大会で男女共に3位入賞

8月5日と6日、第40回葛巻カップミニバスケットボール交流大会が社会体育館で開催されました。

町バスケットボール協会が主催するこの大会は、北東北3県の交流とミニバスケットボールの普及発展を目的に昭和59年から開催されており、今年が40回目の記念の大会。県内外7市町から男女合わせて12チームが参加し、今年で創部50周年を迎えた葛巻ミニバスケットボールクラブは、男子は35年ぶり、女子は2年連続の3位入賞を果たしました。

男子キャプテンの村上璃孔さん（葛巻小6年）は「1年生の時にクラブに入ってから初めて入賞できて嬉しかった。11月の岩手地区ミニバス交歓大会の地区予選を突破できるよう頑張りたい」、女子キャプテンの伊藤絆莉さん（同）は「みんなでリバウンドを最後まで取って入賞できて良かった。チーム全体でシュートに繋がられるパス回しができるように練習したい」と話し、さらなる成長を目指し気持ちを新たにしていました。

葛巻ミニバスケットボールクラブ（女子）



（後列左から）
鈴木陽菜
下天広蒼
竹花瑠莉
村上杏那
（前列左から）
明石悠那
伊藤絆莉
上野紗璃
熊谷美里
（写真以外の選手）
近藤瑞姫、松浦穂華

葛巻ミニバスケットボールクラブ（男子）



（後列左から）
太田碧海
村上璃皇
伊藤結輝
（前列左から）
四日市倅汰
村上璃孔
山口遼真

公民館 図書室から 本の紹介



『ねぞうプロレス』
ひらぎみつえ作・絵

今夜も「ねぞうプロレス」の時間がやってきました。選手は川の字になって寝ている3人の親子。次々と繰り出されるキメキメの技！子どものねぞうをプロレスに例えた、笑顔あふれる家族絵本。

● 開館時間：午前8時30分～午後7時
● 休館日：年末年始



『木挽町のあだ討ち』
永井 紗耶子 著

雪の降る夜、芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆による見事な仇討ちが成し遂げられた。2年後、ある若侍が大事件のいきさつを聞きたいと木挽町を訪れる。芝居者たちの話から炙り出される真相は…。



『ぼくは本のお医者さん』
深山 さくら 文

山形県酒田市で製本会社を経営しながら、壊れた本を修理する「ブックドクター」として活躍する齋藤英世さん。その仕事ぶりや半生を、本のつくりや修理方法、修理に対する思いとともに紹介する。